

伊豆の国市議会議員選挙公報

平成29年4月16日執行
伊豆の国市選挙管理委員会

「住みたい 伊豆の国市」実現のため

1. 高齢者・障害者にやさしいまち
2. 安心して安全な子育てができるまち
3. 働き場所のあるまち
4. 子どもの成長を応援するまち

4つのまちづくりに努力します。



たかなし
高梨 たいち
よし

昭和26年10月22日生
(65歳)

みなさんの願いまっすぐ 暮らし・福祉まもる市政に



日本共産党
みよし 陽子
ようこ
田京区在住(60才)

「住民こそ主人公」の原点
つらぬきます

安倍政治による「地方切り捨て」の悪政が市民の暮らし、福祉に直接押し付けられています。

私は市民の要求実現のために、皆さんの声をまっすぐ届け、福祉と暮らしを守る――市政本来の役割を果たせるよう全力でがんばります。

暮らし・福祉、子育て応援に
全力あげます

今とりわけ高齢者と子育て世代の生活の不安がいつそう深刻になっています。私は市民一人ひとりの悩みに寄り添う市政の実現に力を尽くしていきます。



- ◇ 国保税の負担軽減
- ◇ 「介護難民」につくらない
軽度の人にも必要なサービスを
- ◇ 高校生まで医療費の無料化
- ◇ 水晶苑などの高齢者入浴施設
がん検診の無料復活
- ◇ 大仁市民会館は
多目的な活動拠点として存続を

あなたと一緒に地域の未来を



八木 もとゆき

●地域づくり

- ① 地域防災力の強化
- ② 自治会組織の活性化
- ③ 地域公共交通の確保

●観光・商工・農業の振興

- ④ 蘆山反射炉を活用した観光づくり
- ⑤ 温泉を活用した観光づくり
- ⑥ 観光情報の強化

●子育て教育の振興

- ⑦ 世代間育児交流の促進
- ⑧ 学習支援の促進
- ⑨ 学力・体力・人間力づくり

●健康福祉の充実

- ⑩ 健康寿命の延伸
- ⑪ 高齢者福祉の充実
- ⑫ 地域ボランティアの養成

●都市整備の推進

- ⑬ 災害に強いまちづくり
- ⑭ 街並みの景観づくり
- ⑮ 道路・河川整備の推進

子供に夢を、若者に希望を、高齢者に愛を

弱い立場の人に優しい街を

子ども

高齢者

障がい者

- ☆ 地域で見守り育てる子育て支援
- ☆ 高齢者がますます活躍できる場の創出
- ☆ 障がい者の社会進出促進

福祉の現場から挑む！



元社会福祉協議会事務局長

にとう武司

にとう たけし

あなたの暮らしを守る市政とまちづくり

全力で取り組みます！

プロフィール

- ◆昭和53年
日本大学商学部卒業
旧伊豆長岡町役場へ奉職
- ◆平成15年
伊豆長岡町・菰山町・大仁町
合併協議会事務局長
- ◆平成17年
企画部長・総務企画部長・
観光文化部長
- ◆平成28年
伊豆の国市役所退職
・旧伊豆長岡町消防団第三分団長
(現在 第一分団に統合)
・旧伊豆長岡町子ども会連合会
副会長

5 行財政改革の推進

4 教育・文化
スポーツの振興
・文武両道の子どもの育成

3 産業経済の活性化と
雇用の創出の推進
・地域資源を活かした観光の振興
・東京オリンピック・パラリンピックへ
向けた観光対策の推進
・農業施策の拡充と耕作放棄地
対策の推進
・有害鳥獣対策の増進

2 安全・安心な
まちづくりの推進
・狩野川流域の防災対策と
雨水排水対策の推進

1 子育て支援、医療、
介護、福祉の推進
・安心して子どもを産み、
育てられる環境整備の推進
・順天堂静岡病院と連携した
安心できる地域医療確保の推進
・高齢者、介護者への支援の拡充



昭和30年4月12日生 62歳

鈴木としはる

伊豆の国市長選挙・伊豆の国市議会議員選挙

投票日

4月16日(日)

午前7時から 午後8時まで

投票日に仕事や旅行などの予定がある方は
「期日前投票」をしましょう。

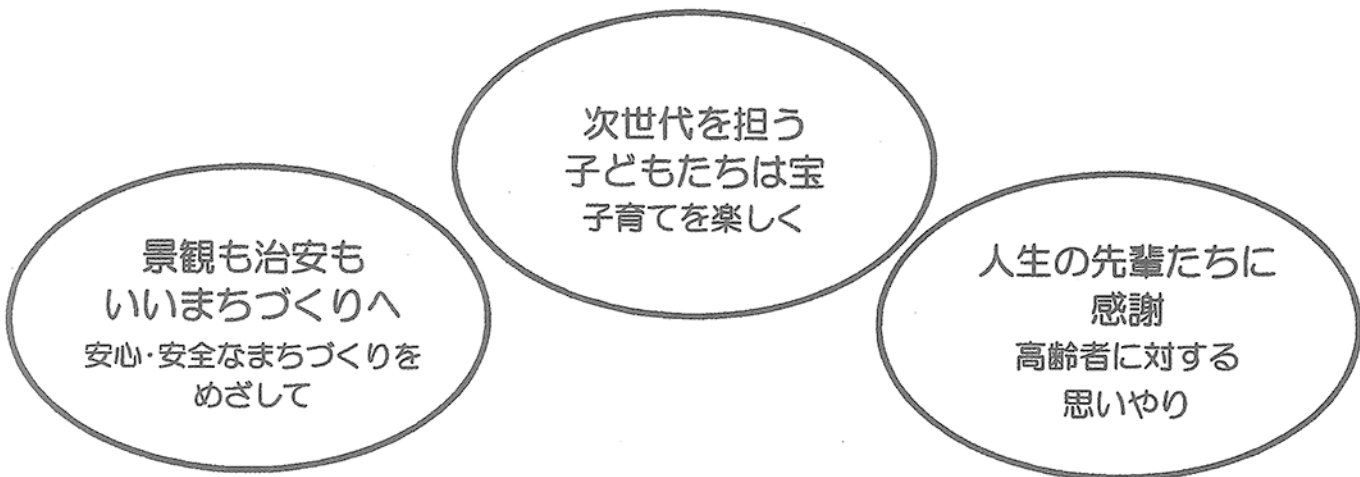
期日前投票所：伊豆の国市役所伊豆長岡庁舎
菰山支所・大仁支所は、投票できません。

4月10日(月)から4月15日(土)まで
午前8時30分から午後8時まで

- ※第14投票所(高原公民館)
- 第15投票所(みどり区自治会館)
- 第21投票所(田中山公民館)
- 第23投票所(下畑公民館)
- 第24投票所(浮橋公民館)
- 第25投票所(田原野公民館)
- 第26投票所(長者原公民館)
は午後6時まで

伊豆の国市議会議員選挙公報

平成29年4月16日執行
伊豆の国市選挙管理委員会



《住みよいまちを次の世代に》

愛すべき伊豆の国市を、よりよい形で次の世代につないでいきたいと思ひます。そのために皆様の声を集めて、ともに市政に反映させていきましよう。もっともっと住みよい伊豆の国市に！



ささきはら恵子 (六十一才)
県立三島北高・明治学院大学卒
元保育士(ちとせ保育園)
旧三山町高等学校PTA連絡協議会会長
法務省人権擁護委員など

「防災・減災対策の強化で、災害に強いまちづくり」を目指して、全力で働き、皆様に喜んでいただける故郷にして参ります！！

私の信条

少子高齢化が進む地域にあつて、未来性があり希望がゆきわたる社会に向けて市民目線で全力で取り組みます。

公明党は実現できました！

◎ 医療・福祉・介護

- ・高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費助成を実現！
- ・オストメイト対応トイレの設置(3カ所)
- ・福祉タクシーバス利用券の利用法の拡大(電車での利用も可能になりました。)

◎ 子育て・教育

- ・中学3年生まで医療費完全無料を実現！
- ・小児肺炎球菌ワクチンの公費実施を実現！

◎ 防災・減災・経済・街づくり

- ・海拔表示や同報無線テレビホンサービスの実施
- ・安全柵の設置(サンパレー長岡付近)

目指します！

★防災・減災対策の強化

- ・老朽化した社会資本の長寿命化の推進

★子育て支援と福祉の充実

- ・幼児教育無償化(保育園・幼稚園)
- ・福祉事業の拡充

★活気あるまちづくり

- ・新規スポーツ施設の整備で交流人口の増加
- ・企業誘致で雇用拡大



公明党公認
もりしげ しろ
昭和三十三年二月十七日生(六十歳)

小川えりこ

昭和35年5月26日生(58歳)



理念

1. 安心・安全の町づくり
2. 教育の質的向上
3. 子育て支援
4. 働きやすい環境作り
5. 世代を越えた人間・社会作り
6. 魅力ある議員の増加

伊豆の国市議会議員選挙公報

平成29年4月16日執行
伊豆の国市選挙管理委員会

— 皆さまの声を市政に届けます —

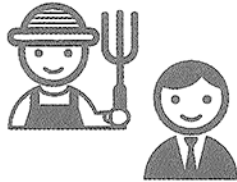
略歴

静岡県信用農業協同組合連合会勤務
元山木区長、元山木区青少年育成会会長
県立韮山高専卒、国立千葉大学卒



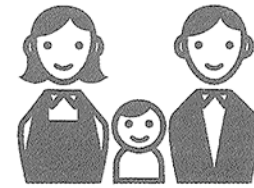
雇用の創造

- 農業振興
- 産業育成
- 企業誘致



高齢者・子育て世代の満足度向上

- 学童保育の充実
- お達者度の向上



住みたくなる街 伊豆の国市の創造



生活者・市民目線の市政に

地域活性化には、地域や市民の声を市政へ届けることと、市全体を見渡しなが
ら未来を見据えた施策を考える二つの視点が必要です。
住みやすい街づくりのために、皆さまと市とのパイプ役として働かせていただき
たいと思っております。



無所属

岩本まなぶ

一九五六年六月生 六〇歳

井川こうじろうが望むこと

教育・子育て 医療が充実した まちづくり

- ・ 病児保育の市内設置を
目指します
- ・ 若い世代の結婚活動を推進

若い世代の考えを市政に

- ・ 若い世代の意見を
届けることを目指します
- ・ 企業誘致による
雇用回復を目指します
- ・ 若者が夢をもてる社会づくり

自然を知り、活かす

- ・ 観光、教育、災害と
自然をつなげる
- ・ 河川・土石流危険地帯
の整備

福祉充実と高齢者の 活躍の場

- ・ 高齢者の活動・就労の促進
- ・ コミュニケーションがとれる
場の強化を目指します

道路網の整備

- ・ 渋滞解消
- ・ 狭い道路(通学路等)
の整備

地域の特徴を活かし

人々が集まる

まちづくり



市政に若き新風を!!

井川こうじろう

昭和六十一年五月二十六日生(三十歳)

伊豆の国市長選挙・伊豆の国市議会議員選挙

投票日 4月16日(日)

午前7時から午後8時まで

- ※第14投票所(高原公民館)
- 第21投票所(田中山公民館)
- 第24投票所(浮橋公民館)
- 第26投票所(長者原公民館)

- 第15投票所(みどり区自治会館)
- 第23投票所(下畑公民館)
- 第25投票所(田原野公民館)
- は午後6時まで



伊豆の国市議会議員選挙公報

平成29年4月16日執行
伊豆の国市選挙管理委員会

私の目指すまちづくり

一 安全で安心して暮らせるまちづくり

- 子供からお年寄りまで守る
地域防犯対策の強化
- 東海地震や台風など自然災害への対策強化
- 地域要望の強い道路整備推進と防犯灯の増設

二 新しい時代にふさわしいまちづくり

- ICT（パソコン等の情報通信技術）時代に
対応する先進的なまちづくり
- まちづくりは人づくりの観点から
若い子どもたちに国際感覚を
働き女性を応援する子育て支援の
制度改善と充実

三 行政改革の推進

- 行政の予算・決算などを
市民目線でチェック
- 行政の無駄をなくし、
市民の求める事業の推進

四 議会改革の推進

- 政務活動費の透明性向上と
議会の動画配信推進
- 議会改革制度の全国ランキング向上を目指す
赤ちゃんからお年寄りまで

みんなが元気に



古屋 えいじ
昭和二十九年七月八日生（六十二歳）

市民と共に

くらしを守る活気ある市政を

医療介護・福祉

- 医療介護福祉を充実させ安
心できる体制をつくります
- 高すぎる国保税の引下げ。
- 高齢者の「足」問題解決しま
す
- 介護難民をつくらないため、
特養ホーム増床
- がん検診無料化を復活させ、
予防対策の公的支援を進め
ます



子育て教育支援

- パパママたちに必要な子育
て支援センターを新設し次
世代応援策を充実させます
- ゼロ歳児保育・18歳まで医
療費無料化実現を
- 学校給食費無償化をめざし
ます
- 長岡地域に図書館の開所を
求め、市民と共にごんばり
ます



地域経済振興

- イチゴ、トマトなど農産物
の産地化を推進する応援窓
口の設置
- 農業と観光の一体的振興策
で町おこし、市民力を生か
して伊豆の国市の発展計画
をつくります
- 住宅リフォーム助成制度は
市民・業者さんにも喜ばれ
る循環型経済政策です。
- さらに発展させていきます

重点政策



日本共産党
伊豆の国市前市議会議員
静岡東部健康友の会副会長
南江間在住・68歳
たかはし 公一



無所属
うめはら
梅原ひでのぶ
子どもが夢を
持てるまちづくり

ごあいさつ
この四年間、「打って出る、伊豆の国」というスロ
ーガンのもと、伊豆の国市を明るく元気なまちにした
い、という思いで議員活動に打ち込んでまいりました。
しかし、市民の皆さまが安心して暮らせるようになる
までには、未だ解決すべき課題が多々あります。皆さま
から頂いた声を市政に投げかけながら、伊豆の国市を
一層住みよいまちにするために一生懸命努める決意で
す。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

- 理念と主な政策
- ・市民の声が届く市政の実現
 - ・教育・学力向上と通学路の安全確保
 - ・外国語（英語）教育の充実
 - ・高齢者、障がい者の生活（QOL）向上
 - ・認知症対策の強化、介護負担の軽減
 - ・農業環境の改善、六次産業推進
 - ・災害時の避難支援体制の構築、避難所運営訓練実施
 - ・伊豆縦貫道活用による企業誘致と雇用の創出

プロフィール
昭和二十三年九月生（六十八歳） 葦山多田 農業
・元伊豆中央高等学校校長
・伊豆中央高等学校後援会顧問
「発達障害の支援を考える」議員連盟会員
伊豆の国歴史ガイドの会会員
・葦山高等学校卒業 慶応義塾大学（文・英文）卒業
・モントー…人と出会い、自分を高め、自然と生きる
愛読書…幸福の王子（オズカー・ワイルド）
趣味特技…山登り、写真、美術鑑賞、日本画、弓道三段

あなたの声を市政に

伊豆の国市議会議員選挙公報

平成29年4月16日執行
伊豆の国市選挙管理委員会

主婦の視点、働く女性の視点、介護者としての視点。

視点を变えてまちづくり

視点を变えるとみえてくる
より暮らしやすい伊豆の国市の
新しいビジョンを提案します!



やる気! 元気!! 勇気!!!
小澤さつえ
おざわ

スポーツ・観光振興の取組

- ◆温泉療法を利用した滞在型をめぐす
- ◆歴史の玉手箱の活用しやすいストーリーを作成
- ◆おもてなし作戦を展開
- ◆地域資源の活用(ひと公園など)
- ◆芸妓文化の推進
- ◆全国よりスポーツ誘致のプロモーション

福祉・子育て・教育の充実

- ◆3世代居場所づくりの充実
- ◆子育て世代の声を反映できる環境
- ◆野外活動センターの宿泊施設整備への提案
- ◆人づくり・道徳向上への学習
- ◆障がい者福祉事業の推進と地域との連携確立へ
- ◆ダブルケアに対し軽減対策

無駄をはぶき 有意義な財政確保

- ◆小澤さつえは、常に現場主義!!
- ◆市の事業現場においても、納税者目線で
公正で適正な予算執行と財政のチェック
- ◆公共交通の見直しとオンデマンド交通を目指す
- ◆ペーパーレス化の推進(議会から実行)

安心・安全なまちづくり

- ◆防災・減災に強いまち
- ◆通学路の整備促進
- ◆無電柱化推進
- ◆地域防災リーダーの養成
- ◆河川整備の推進
- ◆避難所運営のマニュアル作成提案

一人一人の環境意識の向上

- ◆焼却炉経費削減(みぞろタイプエット推進)
- ◆生ごみ資源循環型農土香拡充の提案
- ◆犬猫殺処分ゼロを目指す

略歴
●1956年5月24日生まれ ●私立加藤学園高校卒業
●平成2年~25年 中部ホームサービス(株)三島営業所勤務
●平成25年~ 伊豆の国市議会議員
●伊豆の国市議会 福祉文教経済委員会副委員長(平成27~28年)
●伊豆の国市議会 議会たより特別委員会委員長(平成27~28年)

- 主な活動**
- 七福神ロードプロジェクト設立(源氏山掃除・慰問活動中)
 - NPO法人HR話し方研究所 講師(スピーチ伊豆長岡 教室開催)
 - 江間婦人学級 茶道会長

- ワークショップ**
- 江間イチゴ狩りセンターキャンドルナイト開催
 - 旅館組合女性部 PR小冊子「ことりつづ」作製
 - 花のおもてなしプロジェクト参加

議会に透明性を

伊豆の国市のホームページには、議員の顔写真・学歴・経歴・報酬額、議会の映像、これらがひととおり掲載されています。伊豆の国市議会です。



無所属
しまだ しろう
島田 寿朗
昭和52年生まれ(四十歳)

未来への投資を

江川英龍氏の遺した江戸時代における「鉄製の砲台」は、何なのか。伊豆の国市は、現代の先端技術に目を向けていますか？

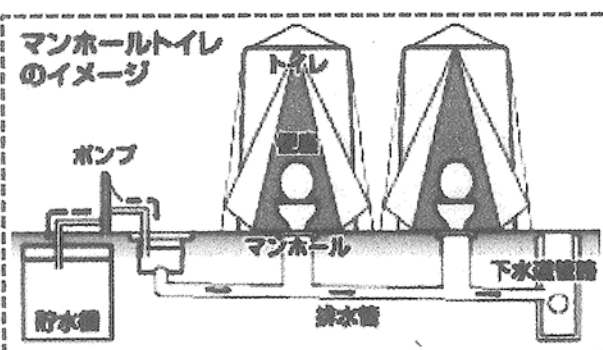
声を形に

言うまでもなく市の役は市民です。現場の声に耳を傾け、最も適切な提案の形に落とし込んでいく。大切な優先順位を設けていく。そのために、議員の義務でもある。ご期待下さい。



女性・お年寄り・障がい者にやさしい 広域避難所に下水道接続型のマンホールトイレの建設

- ① 広域避難所に「女性やお年寄り、障がい者にやさしい」段差の無いマンホールトイレの建設
- ② 菰中・隣接体育館、長岡北小に下水道接続と千代田団地に下水道延伸を実現
- ③ 企業の河川汚濁から住民生活を守り、5年続く長岡北小学校の悪臭問題の解決
- ④ 戸沢川を守り、長瀬川・宗光寺川・鍋沢川などの護岸工事と土石流対策



- ⑤ 廃止・縮小された「高齢者福祉予算の復活」
- ⑥ 住民税非課税世帯の国保料・保育料等の無料化
- ⑦ 低所得での格差是正。高校授業料や医療費の助成
- ⑧ 年金支給基準となる「生活保護費引下げ」に反対
- ⑨ 「公選法違反の免罪」など許さず議会の改革
- ⑩ 行政とは緊張関係を保ち、予算執行を監視

※権力と癒着せず圧力に屈せず「住民第一」を貫きます



としはる
とらる
すぎお 利治
伊豆生活と健康を守る会 代表 (六九才)
事務局長

伊豆の国市議会議員選挙公報

平成29年4月16日執行
伊豆の国市選挙管理委員会



プロフィール

- ・ 韮山町高原に生まれる
 - ・ 県立田方農業高校卒業
 - ・ 農業専門学校卒業後、農業に従事
 - ・ 青年団、消防団 農協青年部で活動
 - ・ 韮山町農業委員 (9期27年)
 - ・ 消防分団長
 - ・ 高原区長
 - ・ 韮山町議会議員
 - ・ 伊豆の国市議会議員
- 現在：市農業委員
市議会議員3期目副議長

- ◎ 医療費の完全無料化を 中学三年生まで拡充
- ◎ 保育料の五階層以上の 月額三六〇〇円の引き 下げ実現
- ◎ 学童保育の四年生まで の受け入れが実現
- ◎ 特養ホーム待機者の解 消を求め、地域密着型 小規模特養の新設
- ◎ 防災ラジコを希望世帯 に配備
- ◎ 同報無線による建物火 災のお知らせ再開
- ◎ 新築・リフォーム助成 の継続、店舗に拡充
- ◎ 市職員の四割を占める 非常勤職員の、四月か らの賃金引き下げを、 ストップ

皆さんの声届け 安心して暮らせる市政に

全力で 取り組みます

- ☆ 資源ゴミ回収場所増設
- ☆ 浸水・排水対策の強化
- ☆ 地域農業の課題に対応 国保税の値上げ反対 負担の軽減を
- ☆ 特養ホーム待機者解消
- ☆ 高齢者も障害者も安心 できる福祉の充実
- ☆ 子どもの医療費無料化 十八歳まで拡充を
- ☆ 幼稚園授業料・保育園 の負担軽減
- ☆ 学童保育六年生まで受 け入れを
- ☆ がん検診を無料に戻し、 受診率の 向上を



日本共産党

田中正男

(六十三歳)

明るく豊かな社会づくりのために。

【高齢社会のこと】
人は高齢になると、身体に何らかの障害をもつようになります。平成28年の伊豆の国市の65歳以上の人口は、15,170人で、30%を超えました。社会の大きな割合を中高年が占めるようになった近年、障害をもつ人の生活は、特別なことでなく、誰もが普通なこととしてとらえる必要があります。ひとくちに障害といっても種類や程度が多様であることを考えると、ハード整備のみで対応できず、ソフト面での対応が重要となります。大切なことは、すべての人を受け入れるという「心のバリアフリー」の考え方です。

【狩野川のこと】
狩野川をつかって遊ぶには、作法があり、学ぶには、流儀があり、働くには、知恵があります。地域の魅力は、その地に暮らす一人ひとりの生活に現れています。本町の豊かさや自然と共生する感覚が大切であり、そういう生活における地域の再認識が必要です。

情報公開を積極的にすすめ、市民・行政・議会が一体となり、市の将来をみんなで創り上げていくことに全力を尽くします。市民に代わり健全な財政運営を念頭に、議会で基本的な方針を決定（議決）し、その執行を監視することを誓います。

約束



伊豆の国市 市議会議員 候補
うちだ
内田たかひさ
昭和29年10月7日 大に生まれ

動きます!! 変えます!! をモットーに

2020年 生き活きと輝く伊豆の国市へ

活力あふれる観光のまちへ

伊豆ジオパーク、2020年東京オリンピック・パラリンピックなどを活かし、時代の変化に対応した観光のまちづくりに汗を流します。

市民の役に立つ市役所へ

市役所の「仕事の仕方」や「職員のあり方」を考え、今以上に「市民の役に立つ」市役所に変えていきます。

働く場所と働き甲斐のあるまちへ

農業の高付加価値化や産業構造の変化を見据えた企業立地の促進などによって、新たな雇用と働き甲斐の創出を目指します。

気品に満ちた、美しいまちへ

歌声がまちにこだまし、花と緑に包まれた、「文化の香り高い、美しいまちづくり」を推進します。

子どもたちの夢を拓けるまちへ

子育て環境の充実に注力します。また、次世代を担う子どもたちのために、文化、スポーツ、国際交流などの機会を拓けます。

誰もが安心して暮らせるまちへ

市民の皆様の声に耳を傾け、お年寄りが安心・安全に暮らせる生活環境の整備に努めます。



無所属
しばた
柴田みつあき
伊豆の国市古奈三六一―二

伊豆の国市議会議員選挙公報

平成29年4月16日執行
伊豆の国市選挙管理委員会

女性が活躍できる「まちづくり」

経済の活性・雇用・働きやすい環境整備

安心安全・生きる力の強化

小規模事業者・若手事業者の支援

地域防災力を強化する取組

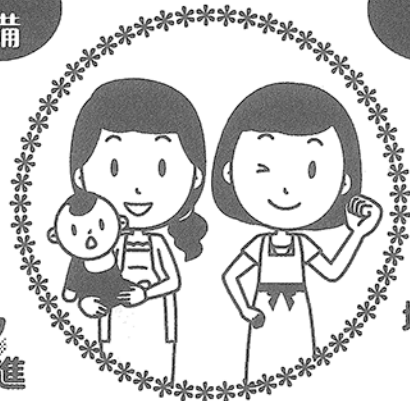
ワークライフバランスの推進

地域コミュニティ活動の推進

女性の声を生かした賑わいの創出

国県と連携した基盤整備・安全対策の強化

市議会議員
2期8年の経験から
目指すもの



無所属
あまの
天野さより
一九五七年四月二十三日生

プロフィール
【経歴】
静岡県ふじのくにまちづくりコーディネーター
静岡県商工会連合会女性部監事
静岡県立伊豆中央高校評議員
田方消防組合議会議長
伊豆の国市議会運営委員長
伊豆の国市消防団女性消防隊長
伊豆の国市商工会女性部長(理事)

【出身地】
伊豆の国市南條

【学歴】
葦山小学校
葦山中学校
県立三島北高等学校

【家族】
両親、弟夫婦、甥・姪の8人家族

日本に誇れる「まち」を市民の力で!

- 共働き世代の育児支援を充実させ若い世代の移住を促進する。
- 3町合併後の「伊豆の国市」の在り方を再確認し、学区の一本化、および市内の各イベントを充実させ住みやすい「まち」にする。
- 反射炉世界遺産、東京オリンピック等を踏み台とし生活の活性化を促進し、シニア世代の活躍の場を充実する。

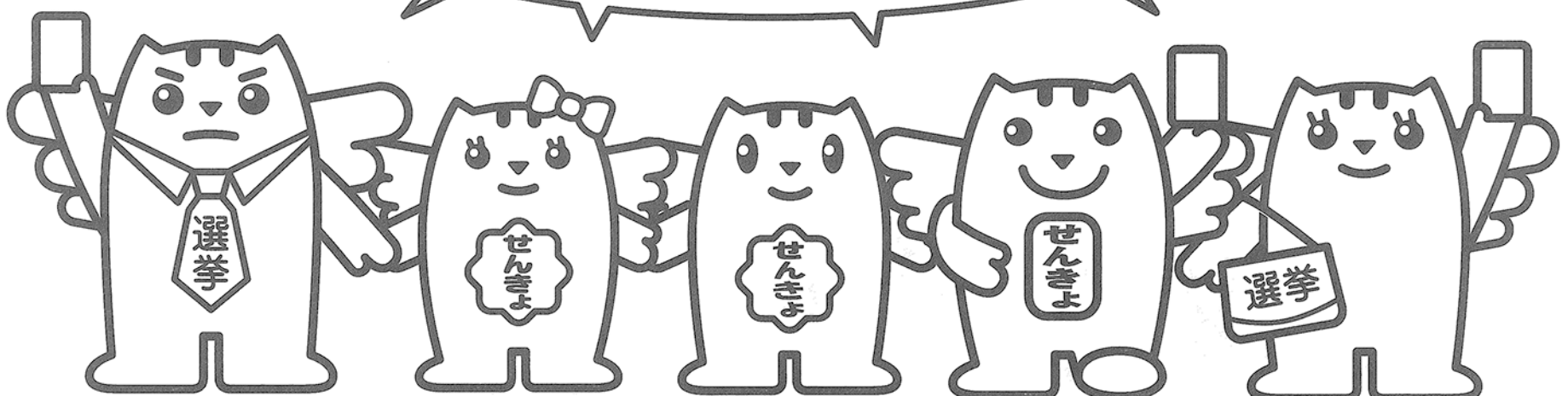
プロフィール

静岡県立修善寺工業高等、同伊豆総合高等学校に建築科教諭として41年間勤務。同校において、自転車部、レスリング部、郷土芸能部の顧問において全国大会出場。立花台区長2期経験。



伊豆の国市民の協力で創造力で活力ある町にする!
久保たけひこ

みんなで行こう。明るい選挙。





あおき
青木みつる
昭和49年生まれ・42歳

元気なまち伊豆の国

実現へ向けての取り組み

- 一、『元気』なまちづくり
 - 子育て世代への支援・教育環境の充実
 - 高齢者・障がい者の働ける環境づくり
 - 企業誘致推進と雇用の確保
- 二、『安心でゆとりのある』生活
 - 育児・介護と仕事の両立ができる支援の充実化
 - 子ども・お年寄りが楽しく安心して暮らせる施設推進
 - 風水害・地震などの自然災害対策強化
- 三、『人と自然』との調和
 - 伊豆の国市の豊かな自然と調和した産業推進
 - 自然・地域の特徴を活かした教育推進
 - 魅力ある地場産品のブランド力強化

じょうねつ ことごとく

情熱☆行動!

元気なまちづくり

活力あふれる

- ☆課題や時代の変化に向き合う
 - 少子高齢化・人口減少は日本の課題
 - 今こそ未来への投資 大胆な若者支援を
 - IT・AI変革のとき 市内にIoT整備を
 - 市営塾の開設 子どもの貧困・教育格差対策
- ☆福祉施策は平等に、ていねいに
 - 認知症の理解・居場所作り・孤立をさける
 - 健康寿命をのばす・高齢者は働ける
 - 新交通システムの実現
- ☆教育は個のもの・社会のもの
 - 教育の充実・機会平等に
 - 子どもの身体・発達支援・幼保教育の充実
 - 小中指導者が多忙で教育の品質が心配
- ☆地域医療制度の充実
 - 順天堂静岡病院を頂点に 医療機関の連携
 - 電子カルテ化で医療・介護等の共有
- ☆議会こそが市民と共に
 - かれた議会の推進・議会制民主主義の確立
- ☆地域活性化・持続可能に
 - 農の活性化と食の確保・竹林里山の整備保全
 - 訪れて楽しいまちを・市内滞在時間の延長策
 - 狩野川の川辺再生 遊べる場所に
 - 里山料理と地産地消 わが町の味



無所属
ごとう真一

住み続けたいまちを

子育て世代から現場の声を市政に届けます!



たかはし
高橋 たかこ
無所属 46歳



①教育・ひとづくり
農体験や、幼児から小・中・高生までたわりの交流を通じ、健康で文化的な暮らしを促進します。また、子育て支援拡充等を進めます。

②生涯スポーツ・文化サークルで健康長寿
病気になる前に予防を。スポーツ・食育・農作業やサークル活動などを通じ、健康長寿の街を目指します。

③子供達の部活動・少年団を応援!
市教育バスの復活!! 市民が使いやすい体育館を!! バスは部活動、課外授業、少年団等への貸出をして支援します。校舎・教育環境の改善、教育・福祉にかかる予算の確保。

④市民活動の施設・図書館フル活用!
子連れでも楽しめる講演会、上映会の実施など、図書館を文化・情報発信の拠点として活用します。

⑤居場所をつくらせて井戸端会議
世代間交流のできるマルシェやカフェを設置。若者が活躍できる場を広げていきます。

小・中・高・大学生、4人の子供の母親です

高橋 隆子 プロフィール

たかはし たかこ

●昭和45年三島市生まれ ●韮山高校(41回)・早稲田大学卒業後アメリカ各地で研修 ●ホリスティック医学、マクロビオティックを研究実践 ●日本緑内障学会食養アドバイザー ●自然食グループ香芽会代表 ●更生保護女性会会員 ●伊豆の国市立富士美術推進PTA会長(二期) ●スキー&パラグライダーインストラクター ●韮山(山の高橋農園)にて無農薬無化学肥料有機栽培の野菜づくりをしながら、4人の子育て真っ最中

高橋たかこ後援会

高橋たかこ後援会 検索

<https://takahashi-takako.jimdo.com>